



学校法人文化学園
川口文化服装専門学校

2019 年度授業計画



2019年度 川口文化服装専門学校 授業計画（シラバス）目次

課 程	学 科	学 年	科 目 名	授 業 形 式	ペ ー ジ 番 号
服飾・家政 専門課程	服装科 服飾専攻科	(留学生のみ)	日本語	講義	2
	服装科	1・2	各種検定講座	講義・演習	8
	服装科	1・2	服装造形論	講義・演習	3
	服装科	1・2	服装造形デザイン	実習	3
	服装科	1・2	服装造形ソーイング	実習	3
	服装科	1・2	パターンメイキング	実習	3
	服装科	1・2	服飾手芸	実習	4
	服装科	1・2	服装デザイン論	講義・演習	4-5
	服装科	1・2	ファッションデザイン画	演習	9
	服装科	1・2	西洋服装史	講義	5-6
	服装科	1・2	アパレル素材論	講義	6
	服装科	1・2	アパレル品質論	講義	6-7
	服装科	1・2	ファッションビジネス概論	講義	7
	服飾専攻科	1	服装造形理論・実習	講義・実習	8
	服飾専攻科	1	服装造形デザイン	実習	8
	服飾専攻科	1	服飾手芸	実習	8
	服飾専攻科	1	(1科目選択) ファッションビジネス概論 パターンメイキング 各種検定講座	講義 実習 講義・演習	9-11
	服飾専攻科	1	(選択) ファッションデザイン画 学生作品ショー	演習 実技	9-11
服飾・家政 専門課程	服装科	1・2	学生作品ショー ファッションショー見学 校外実習・研修旅行	特別活動	11

【専門課程服装科】

- ・「日本語」：留学生を対象として開講。日本語の日常会話力および他授業の理解力向上をサポートすることを目的とする。日本語教育の専門教材を利用して、日本語の文法・文章読解・漢字の読み書きを中心とした日本語学習の基礎的な内容の学習からより発展的なレベルまでの学習を行う。

【日本語】年間スケジュール				
	1学期	2学期	3学期	授業時間数
服装科	(1年) ・日本語でのあいさつ表現 ・日常会話で使われる語彙(基本編) ・道具の名前(服飾) ・日本語能力試験2級 練習問題	(1年) ・日本語能力試験2級 練習問題 ・応用的な語彙 ・長文読解(基本編)	(1年) ・作文練習 ・新聞の読解 ・漢字の読み書き	30時間
	(2年) ・抽象的な表現 ・ヒヤリングの練習 ・1年次の復習	(2年) ・日本語能力試験2級 練習問題 ・緊急時に使用する言葉・実践練習 ・長文読解(応用編)	(2年) ・作文練習 ・日本語能力試験2級 練習問題 ・漢字の読み書き	30時間
授業回数	全14回×2年間	全13回×2年間	全3回×2年間	
服飾専攻科	・抽象的な表現 ・ヒヤリングの練習 ・日本語能力試験2級 練習問題	・日本語能力試験2級 練習問題 ・緊急時に使用する言葉・実践練習 ・長文読解(応用編)	・作文練習 ・日本語能力試験2級 練習問題 ・漢字の読み書き	20時間
授業回数	全9回	全9回	全2回	

成績評価方法：筆記試験(70%)、出席率(20%)、授業姿勢(10%)

・「服装造形論」「服装造形デザイン」「パターンメイキング」「服装造形ソーイング」

※4科目を理論・実習の流れで組み合わせて授業を行う。

- ① 服飾造形の基礎知識の習得（縫合の基礎、作図の基礎理論、体型観察）
- ② 各アイテム制作を通し服作りの技術と理論の修得
（服の構造、デザイン表現、作図理論と方法、仮縫い補正方法、素材扱い、縫製方法）

③ コーディネート実習

① 衣服製作のための用具：概説一般知識、用具一般知識

衣服製作のための人体と計測：人体について、人体計測

② 縫製の基礎：手縫い基礎、縫製機器について、ミシン基礎縫い（布端の始末）

③ 体型研究（パターン製作の基礎）：身頃原型作図、パターン操作法

④ デザイン⇒作図⇒パターンチェック⇒縫い代付け⇒裁断⇒印付け⇒仮縫い⇒縫製

の一連の制作過程を以下の課題を通して学ぶ。

1年次：一重スカート、シャツブラウス、パンツ、ワンピース、ショー作品

2年次：ジャケット・ボトムス、台衿付きシャツブラウス、ベスト、ワンピース、子供服、フォーマルウェア、ショー作品

成績評価方法：課題提出（70%）、出席率（20%）、授業姿勢（10%）

【服装造形・理論・実習】年間スケジュール							
服装 科	1 学期		2 学期		3 学期		授業 時間数
	(1年) ・原型 ・スカート ・ブラウス ・シャツ ・パンツ 上記課題制作物一点につき、下記4科目を一連の流れとして授業を行う。		(1年) ・ワンピース ・ジャケット ・ベスト ・パンツ ・ショー作品 上記課題制作物一点につき、下記4科目を一連の流れとして授業を行う。		(1年) ・洋裁技術検定 ・自由作品 ※これまでの学習内容を活かして創作 ・学生作品ショー ・パンツ 上記課題制作物一点につき、下記4科目を一連の流れとして授業を行う。		630 時間
	服装造形論	全12回	服装造形論	全10回	服装造形論	全8回	30時間
	服装造形デザイン	全10回	服装造形デザイン	全10回	服装造形デザイン	全10回	30時間
	パターンメイキング	全10回	パターンメイキング	全11回	パターンメイキング	全9回	30時間
	服装造形ソーイング	全190回	服装造形ソーイング	全200回	服装造形ソーイング	全150回	540時間
	(2年) ・台衿付きシャツカラー ・スーツジャケット、ボトムス ・ベスト ・ワンピース		(2年) ・子供服 ・フォーマルウェア ・ショー作品		(2年) ・洋裁技術検定 ・学生作品ショー		600 時間
	服装造形論	全12回	服装造形論	全10回	服装造形論	全8回	30時間
	服装造形デザイン	全10回	服装造形デザイン	全10回	服装造形デザイン	全10回	30時間
	パターンメイキング	全10回	パターンメイキング	全11回	パターンメイキング	全9回	30時間
服装造形ソーイング	全190回	服装造形ソーイング	全200回	服装造形ソーイング	全120回	510時間	

・「服飾手芸」

1年次：各自のデザインで縫製道具の製作をし、物作り、手縫いの基礎を修得

ピンクッション、鉄ケース

2年次：服装造形論に製作した課題作品とのコーディネートを検討した小物類の製作

課題に適した素材、材料の選択の仕方

フォーマル作品を飾る副資材の選択、作り方、縫製の修得

帽子、ネクタイ、アクセサリ

【服飾手芸】年間スケジュール				
	1学期	2学期	3学期	授業時間数
服 装 科	(1年) ・ピンクッション 手縫いの基礎の習得	(1年) ・ハサミケース バイヤステープの縫製、まつり縫い、マジックテープ利用	(1年) ・刺繍作品 応用技術の習得	30時間
	(2年) ・帽子 デザイン、パターンチェック、縫い代付け、裁断、印付け、縫製	(2年) ・ネクタイ パターンチェック、裁断、印付け、縫製	(2年) ・アクセサリ	30時間
授業回数	全12回×2年間	全15回×2年間	全3回×2年間	

成績評価方法：課題提出（70%）、出席率（20%）、授業姿勢（10%）

・「服装デザイン論」：服飾デザインにおける色彩、形態、コンポジションについての講義及び演習を通し基礎的知識と技術を身につけ、創造力、分析力を養うことを目標とする。

1年次：

- ① 服飾デザインについて
- ② デザインの定義
- ③ デザインの基礎（基礎デザイン、形・色・素材、コンポジション）
- ④ 形態（点、線、シルエット、形の見え方）
- ⑤ 色彩理論（光、眼と色、三原色と混色）

2年次：

- ① カラーシステム・カラーコーディネーション
- ② 色彩の三属性
- ③ 配色の基礎
- ④ 色の見え方
- ⑤ 素材感
- ⑥ コンポジション

【服装デザイン論】年間スケジュール				
服装科	1 学期	2 学期	3 学期	授業時間数
	(1年) ・服飾デザインの定義 ・服飾デザインの基礎① (基礎デザイン、形・色・素材)	(1年) ・服飾デザインの基礎② (演習：コンポジション) ・形態 (点、線、シルエット、形の見え方)	(1年) ・色彩理論 (光、眼と色、三原色と混色)	30時間
	(2年) ・カラーシステム、カラーコーディネーション ・色彩の三属性 (色の体系、色相、明度、彩度、トーン、色の識別)	(2年) ・配色の基礎 (色相およびトーンを基準にした配色) ・色の見え (対比現象、同化現象、膨張性・進出性)	(2年) ・素材感 (素材、柄) ・コンポジション (全体と部分・安定と変化、プロポーション、ドミナント／セントラリティ、シンメトリー／アシンメトリー、シミラリティ／コントラスト)	
授業回数	全12回×2年間	全15回×2年間	全3回×2年間	

成績評価方法：筆記試験（70%）、出席率（20%）、授業姿勢（10%）

・「西洋服装史」

1年次：服装の始まり、古代～中世～近世に至る西洋の服装の流れを理解する。

2年次：近世～近代～現代に至る西洋の服装の流れを理解する。

【西洋服装史】年間スケジュール				
服装科	1 学期	2 学期	3 学期	授業時間数
	(1年) ・衣服の起源	(1年) ・古代の服装に関する歴史の変遷	(1年) ・中世の服装に関する歴史の変遷①	30時間
	(2年) ・中世の服装に関する歴史の変遷②	(2年) ・近世の服装に関する歴史の変遷	(2年) ・近代の服装に関する歴史の変遷	
授業回数	全12回×2年間	全15回×2年間	全3回×2年間	

成績評価方法：筆記試験（70%）、出席率（20%）、授業姿勢（10%）

・「アパレル素材論」

1年次：アパレル産業の流れから繊維の種類、用途、性質などの知識の習得。

2年次：アパレルの主素材である繊維、糸、布地、布地の加工の種類、用途、性質などの知識の習得。

【アパレル素材論】年間スケジュール				
	1学期	2学期	3学期	授業時間数
服装科	(1年) ・布地の「裏・表」、「縦・横」の見分け方 ・アパレル産業の生産経路について ・三原組織	(1年) ・アパレルの意味、アパレルと素材の関係	(1年) ・繊維の種類と分類、用途、成分と構造、性質①（綿、麻）	30時間
	(2年) ・繊維の種類と分類、用途、成分と構造、性質②（糸、絹）	(2年) ・繊維の種類と分類、用途、成分と構造、性質③（化学繊維）	(2年) ・繊維と糸製造 ・糸の種類と構造、性質 ・糸の太さと表示	
授業回数	全12回×2年間	全15回×2年間	全3回×2年間	

成績評価方法：筆記試験（70%）、出席率（20%）、授業姿勢（10%）

・「アパレル品質論」

1年次：アパレルの品質管理の基礎知識を学び、生産管理者に必要なアパレル製品の評価方法を習得。

- ① 品質管理とは
- ② テキスタイルの品質評価
- ③ アパレル製品の品質評価

2年次：アパレルの品質表示の基礎知識を学び、生産管理者に必要なアパレル製品の安全のための法律を学ぶ。

- ① 繊維製品の品質表示
- ② 安全と環境

【アパレル品質論】年間スケジュール				
	1学期	2学期	3学期	授業時間数
服装科	(1年) ・アパレルに求められる品質 ・アパレルの製造工程管理	(1年) ・アパレル製品の品質表示	(1年) ・アパレル製品の取扱い① (家庭洗濯・商業洗濯、特殊クリーニング)	30時間
	(2年) ・アパレル製品の取扱い② (保管、耐薬品性)	(2年) ・染色堅牢性 ・形態安定性	(2年) ・アパレル製品の保証とクレーム (商品の保障とクレーム対策、クレーム事例)	

授業回数	全12回×2年間	全15回×2年間	全3回×2年間	
------	----------	----------	---------	--

成績評価方法：筆記試験（70%）、出席率（20%）、授業姿勢（10%）

・「ファッションビジネス概論」

1年次：ファッションビジネスの基礎知識を学び、アパレル産業の歴史構造・製品の流れ（流通）・様々な職種
の知識を修得する。アパレル製品と消費者の関係を理解する。

- ① ファッションとファッションビジネス
- ② ファッションビジネスの特性
- ③ ファッションビジネスの変遷
- ④ ファッション産業の構造・流通・生産・職種

2年次：ファッション産業構造の基本的知識を修得する。ファッションビジネスの実務を学び、アパレル企業
全般の基礎知識を修得する。

- ① ファッション産業の構造
(テキスタイル産業、アパレル産業、服飾雑貨産業、小売業の構造、繊維ファッション産業を支援する産業と
機関)
- ② ファッションビジネスの実務
(アパレル企業、ファッション小売業の義務と職種、マーケティングの基礎知識)

【ファッションビジネス概論】年間スケジュール				
	1学期	2学期	3学期	授業時間数
服装科	(1年) ・服飾産業の基礎① 服飾産業基本構造【繊維産業の流れ】 現代アパレル周辺産業（繊維/布帛・ニ ット）の製造構造	(1年) ・服飾産業の基礎② 現代アパレルの流通産業の基本構造	(1年) ・服飾産業の基礎② 流通の基本構造	30時間
	(2年) ・服飾産業の基礎③ アパレル産業におけるブランドビジネ スの概要と特性	(2年) ・服飾産業の基礎③ ブランドブランニングの組み立て 市場マーケティングの必要性	(2年) ・服飾産業の基礎④ アパレル会社の基本構造・経 営の仕組み・企業としての責 任/個人としての責任	30時間
授業回数	全12回×2年間	全15回×2年間	全3回×2年間	

成績評価方法：筆記試験（70%）、出席率（20%）、授業姿勢（10%）

【専門課程 服飾専攻科】

・「服装造形理論・実習」、「服装造形デザイン」

- ① 服装造形の基礎知識の習得。(ニット、皮革などの特殊素材の扱い方、縫製方法)
- ② 1スタイルのデザイン構成でコーディネートのできる課題作品の縫製。
- ③ 各アイテム製作を通し服作りの技術と理論の修得。(服の構造、デザイン表現、作図理論と方法、仮縫い補正方法、素材扱い、縫製方法)

セットアップ作品、ニット、皮革を使った作品、ショー作品

【服装造形・理論・実習】【服装造形デザイン】年間スケジュール							
服飾専攻科	1学期		2学期		3学期		授業時間数
		・原型 ・スカート ・ブラウス ・シャツ ・パンツ 上記課題制作を通して理論・制作技術を学ぶ		・ワンピース ・ジャケット ・ベスト ・パンツ ・ショー作品 上記課題制作を通して理論・制作技術を学ぶ		・洋裁技術検定 ・自由作品 ※これまでの学習内容を活かして創作 ・学生作品ショー ・パンツ 上記課題制作を通して理論・制作技術を学ぶ	
授業回数	服装造形・理論	全335回	服装造形・理論	全345回	服装造形・理論	全100回	780時間
	・実習		・実習		・実習		
	服装造形デザイン	全10回	服装造形デザイン	全10回	服装造形デザイン	全10回	30時間

成績評価方法：課題提出（70%）、出席率（20%）、授業姿勢（10%）

・「服飾手芸」

- ① 「服装造形理論・実習」にて製作した課題作品とのコーディネートを検討した小物類の製作
- ② 課題に適した素材、材料の選択の仕方
- ③ フォーマル作品を飾る副資材の選択、作り方、縫製の習得
エプロン、ポーチ、バッグ

【服飾手芸】年間スケジュール						
	1学期		2学期		3学期	授業時間数
服飾専攻科	・エプロン デザイン、パターンチェック、 縫い代付け、裁断、印付け、縫製		・ポーチ デザイン、パターンチェック、 縫い代付け、裁断、印付け、縫製		・バッグ	30時間
授業回数	全12回		全15回		全3回	

成績評価方法：課題提出（70%）、出席率（20%）、授業姿勢（10%）

・「ファッションビジネス概論」

ファッションビジネスの実務を学び、アパレル企業全般の基礎知識を修得する。アパレル製品と企業の間係を
理解する。

① ファッションビジネスの実務

（マーチャンダイジング、アパレル生産の基礎知識、ファッション販売）

② ビジネス知識

【ファッションビジネス概論】年間スケジュール				
	1 学期	2 学期	3 学期	授業時間数
服飾専 攻科	・服飾産業の基礎① 服飾産業基本構造【繊維産業の流れ】 現代アパレル周辺産業（繊維/布帛・ニ ット）の製造構造	・服飾産業の基礎②・③ 現代アパレルの流通産業の基本構造 流通の基本構造 アパレル産業におけるブランドビジ ネスの概要と特性	・服飾産業の基礎③・④ ブランドプランニングの組み 立て、市場マーケティングの 必要性 アパレル会社の基本構造・経 営の仕組み・企業としての責 任/個人としての責任	30時間
授業 回数	全 1 2 回	全 1 5 回	全 3 回	

成績評価方法：筆記試験（70%）、出席率（20%）、授業姿勢（10%）

【共通】

・「ファッションデザイン画」

ファッションデザイン画における基本的な体型・技術の習得を目指す。

- ① 基本的な体型～着装時の表現
- ② オリジナルデザインの発想方法
- ③ 四季に合わせたアイテムのコーディネートデザインの表現

※学年ごとに描き方や発想方法をレベルアップする。

- ④デザイン画コンテストへの出品作品の作成

【ファッションデザイン画】年間スケジュール

【ファッションデザイン画】年間スケジュール				
	1 学期	2 学期	3 学期	授業時間数
服装科 ・服飾専攻科	(1年) ・スード 基本体型 ・着衣スタイル (ワンピース、テーラードジャケット、ベスト) ・画材研究 (マーカー) ・着てみたいスタイル ・モチーフデザイン ・ファッション画コンクール (B3) ①	(1年) ・ファッション画コンクール (B3) ・着衣スタイル (ニット、ファー、コート) ・画材研究 (色鉛筆) ・クラッシュジーンズ ・パーティーウエア ・模写	(1年) ・ショー作品 ・フォーマルウェア ・〇〇のためのデザイン ・2020 春夏トレンドファッション予測	30時間
	(2年・服飾専攻科) ・オリジナルデザイン ・制作意図 ・モチーフデザイン ・ファッション画コンクール (B3) ①	(2年・服飾専攻科) ・ファッション画コンクール (B4) ・着衣スタイル (ニット、ファー、コート) ・クラッシュジーンズ ・卒業制作 ドレス ・模写	(2年・服飾専攻科) ・ショー作品 ・コラージュ ・2020 春夏トレンドファッション予測	
授業回数	(服装科) 全12回 (服飾専攻科) 全10回	(服装科) 全15回 (服飾専攻科) 全8回	(服装科) 全3回 (服飾専攻科) 全2回	

成績評価方法：課題提出 (70%)、出席率 (20%)、授業姿勢 (10%)

・「各種検定講座」：以下、「日本ファッション教育振興協会」主催の検定資格取得を目指す。

- ① 洋裁技術認定試験（初級、中級、上級）・・・全員受験
- ② ファッション販売能力検定・・・希望者のみ受験
- ③ パターンメイキング技術検定・・・希望者のみ受験
- ④ ファッションビジネス能力検定・・・希望者のみ受験
- ⑤ ファッション色彩能力検定・・・希望者のみ受験

【各種検定講座】年間スケジュール				
	1 学期	2 学期	3 学期	授業時間数
服装科 ・服飾 専攻科	(1年) ・洋裁技術認定試験 初級対策（必修） ・その他試験（筆記）対策（希望者）	(1年) ・洋裁技術認定試験 初級対策（必修） ・その他試験（筆記・実技）対策（希望者）	(1年) ・洋裁技術認定試験 初級対策（必修） ・その他試験対策（実技）（希望者）	30時間
	(2年) ・洋裁技術認定試験 中級対策（必修） ・その他試験（筆記）対策（希望者） (服飾専攻科) ・洋裁技術認定試験 上級対策（必修） ・その他試験（筆記）対策（希望者）	(2年) ・洋裁技術認定試験 中級対策（必修） ・その他試験（筆記・実技）対策（希望者） (服飾専攻科) ・洋裁技術認定試験 上級対策（必修） ・その他試験（筆記・実技）対策（希望者）	(2年) ・洋裁技術認定試験 中級対策（必修） ・その他試験（筆記・実技）対策（希望者） (服飾専攻科) ・洋裁技術認定試験 上級対策（必修） ・その他試験（筆記・実技）対策（希望者）	30時間
授業回数	全12回	全15回	全3回	

・「特別活動」

- ① 「学生作品ショー」⇒団体行動により協調性、社会性、人間性を向上させる。
各自で作った作品を発表し、ステージでの表現方法を考える。
- ② 「ファッションショー見学」⇒文化服装学院で開催されるファッションショーの見学を通して、自分たちの「学生作品ショー」に活かすための表現方法を学ぶ。
- ③ 「校外学習・研修旅行」⇒団体生活の体験を通して個人、クラスの親睦を深める。